

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第16期(決算日2019年11月18日)

作成対象期間(2018年11月20日～2019年11月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2003年11月19日から2023年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2015年11月18日)	26,844	1,000	13.4	426.40	13.2	91.1	—	2,792
13期(2016年11月18日)	21,329	1,000	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—	9,401
14期(2017年11月20日)	22,010	1,100	8.4	391.63	6.1	95.7	—	59,514
15期(2018年11月19日)	20,171	900	△4.3	387.78	△1.0	95.8	—	57,653
16期(2019年11月18日)	20,974	1,000	8.9	399.46	3.0	96.2	—	45,496

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首) 2018年11月19日	円	%		%	%	%
	20,171	—	387.78	—	95.8	—
11月末	20,534	1.8	396.30	2.2	96.9	—
12月末	18,236	△9.6	349.48	△9.9	95.3	—
2019年1月末	21,012	4.2	396.91	2.4	97.1	—
2月末	22,371	10.9	417.85	7.8	96.6	—
3月末	21,570	6.9	399.36	3.0	95.8	—
4月末	20,943	3.8	388.84	0.3	96.1	—
5月末	20,378	1.0	369.26	△4.8	96.1	—
6月末	21,653	7.3	388.74	0.2	96.8	—
7月末	21,792	8.0	384.27	△0.9	96.5	—
8月末	20,632	2.3	373.45	△3.7	96.5	—
9月末	19,267	△4.5	356.63	△8.0	97.5	—
10月末	20,909	3.7	385.91	△0.5	96.8	—
(期末) 2019年11月18日	21,974	8.9	399.46	3.0	96.2	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配	み期騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2015年11月18日)	33,447	1,500	18.5	593.89	20.5	92.7	—	11,791
13期(2016年11月18日)	23,881	1,000	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—	12,791
14期(2017年11月20日)	25,377	1,300	11.7	511.23	10.0	95.7	—	54,555
15期(2018年11月19日)	23,684	1,200	△1.9	520.94	1.9	96.3	—	59,150
16期(2019年11月18日)	24,147	1,400	7.9	533.08	2.3	96.2	—	45,226

*基準価額は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数 (=ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)) は、ナスダック・バイオテック指数 (US\$ベース) を当社が独自に円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年11月19日	23,684	—	520.94	—	96.3	—
11月末	24,277	2.5	536.30	2.9	96.9	—
12月末	21,124	△10.8	463.87	△11.0	95.6	—
2019年1月末	24,037	1.5	518.54	△0.5	97.1	—
2月末	26,083	10.1	556.70	6.9	96.6	—
3月末	25,204	6.4	533.84	2.5	95.8	—
4月末	24,689	4.2	524.99	0.8	96.2	—
5月末	23,566	△0.5	488.86	△6.2	96.2	—
6月末	24,759	4.5	508.41	△2.4	96.9	—
7月末	25,165	6.3	508.09	△2.5	96.5	—
8月末	23,376	△1.3	484.95	△6.9	96.5	—
9月末	22,146	△6.5	470.51	△9.7	97.4	—
10月末	24,309	2.6	514.72	△1.2	96.8	—
(期末)						
2019年11月18日	25,547	7.9	533.08	2.3	96.2	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

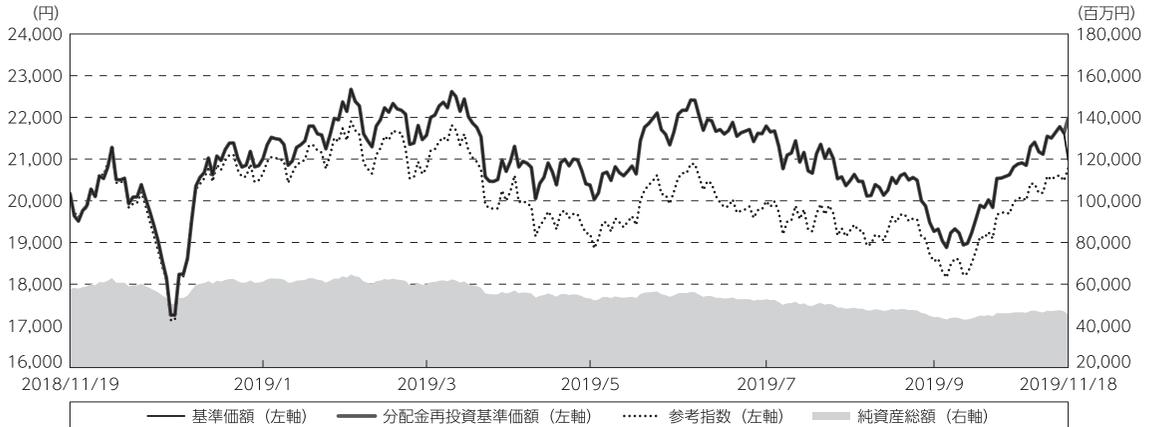
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：20,171円

期 末：20,974円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率： 8.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年11月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2018年11月19日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首20,171円から期末20,974円となりました。

- (上昇) 米国の中間選挙の結果、下院で民主党が過半数を奪還し、オバマケア(医療保険制度改革法)の継続期待が高まったこと、米中首脳会議への期待が高まったこと
- (下落) 景気後退のシグナルとなる米長短金利の逆転が意識されたこと、米中通商問題に対する懸念が高まったこと、米テキサス州でオバマケアに対して違憲判決が出たこと
- (上昇) 米国の大手医薬品企業によるバイオテクノロジー企業の買収発表が相次いだこと、米中通商協議の進展期待が高まったこと、業界全体にM&A(企業の合併・買収)期待が高まったこと

<Aコース>

- (下落) FDA（米食品医薬品局）長官が辞任すると報道されたこと、世界的な景気減速懸念が強まったこと、バイオジェンが開発中のアルツハイマー治療薬の治験中止を発表したこと、米大統領選挙活動において、国民皆保険実現を目指す民主党候補の人气が上昇してきたこと
- (上昇) これまで懸念されてきた薬価や医療制度改革を巡る政治論争などについて出尽くし感が出始めたこと、バイオジェンが早期アルツハイマー治療薬のFDA承認申請計画を再度明らかにしたこと、米民主党のエリザベス・ウォーレン大統領候補が、従来主張してきた医療保険を公的保険へと一本化する案を手直しし、他の民主党候補が提案する穏やかな改革案に近いものへと変更した模様と伝わったこと

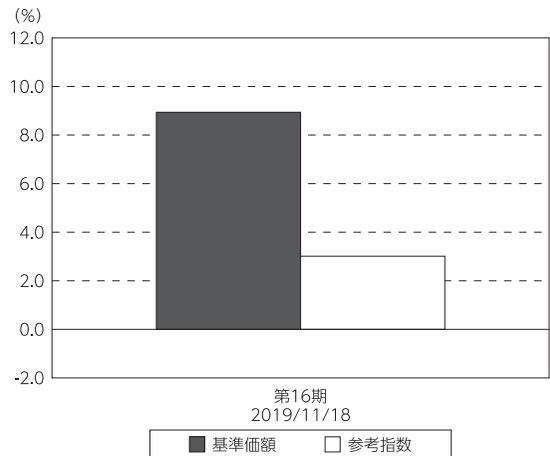
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）の3.0%の上昇に対し、基準価額は8.9%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米大手製薬企業に買収された米国のバイオ企業やベルギー籍の臨床用バイオテクノロジー会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことや、オランダ籍の医薬品メーカーを非保有としていたことなどが挙げられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第16期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.551%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	11,361

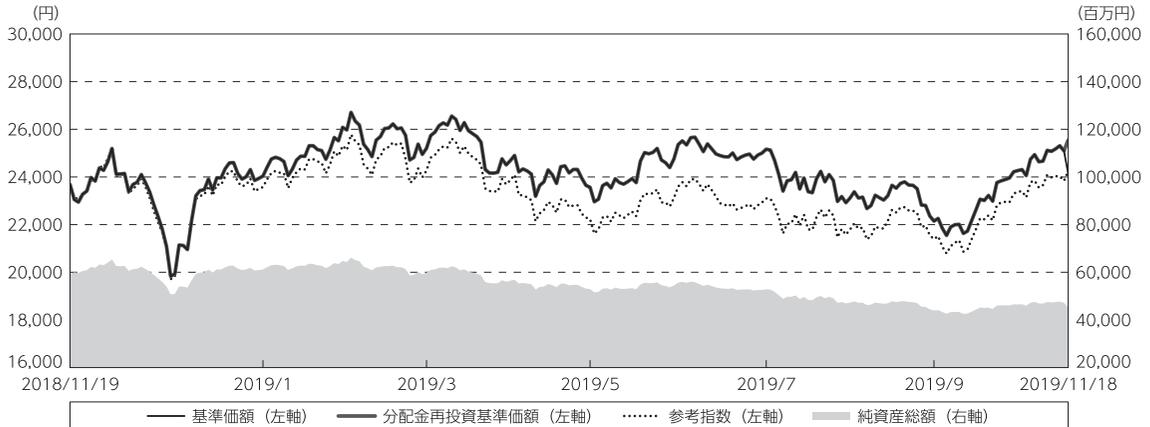
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：23,684円

期 末：24,147円（既払分配金（税込み）：1,400円）

騰落率： 7.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首23,684円から期末24,147円となりました。

- (上昇) 米国の中間選挙の結果、下院で民主党が過半数を奪還し、オバマケア（医療保険制度改革法）の継続期待が高まったこと、米中首脳会議への期待が高まったこと
- (下落) 景気後退のシグナルとなる米長短金利の逆転が意識されたこと、米中通商問題に対する懸念が高まったこと、米テキサス州でオバマケアに対して違憲判決が出たこと、為替市場で円高（ドル安）が進んだこと
- (上昇) 米国の大手医薬品企業によるバイオテクノロジー企業の買収発表が相次いだこと、米中通商協議の進展期待が高まったこと、業界全体にM&A（企業の合併・買収）期待が高まったこと

<Bコース>

- (下落) FDA（米食品医薬品局）長官が辞任すると報道されたこと、世界的な景気減速懸念が強まったこと、バイオジェンが開発中のアルツハイマー治療薬の治験中止を発表したこと、米大統領選挙活動において、国民皆保険実現を目指す民主党候補の人气が上昇してきたこと、為替市場で円高（ドル安）が進んだこと
- (上昇) これまで懸念されてきた薬価や医療制度改革を巡る政治論争などについて出尽くし感が出始めたこと、バイオジェンが早期アルツハイマー治療薬のFDA承認申請計画を再度明らかにしたこと、米民主党のエリザベス・ウォーレン大統領候補が、従来主張してきた医療保険を公的保険へと一本化する案を手直しし、他の民主党候補が提案する穏やかな改革案に近いものへと変更した模様と伝わったこと、為替市場でドルが反発したこと

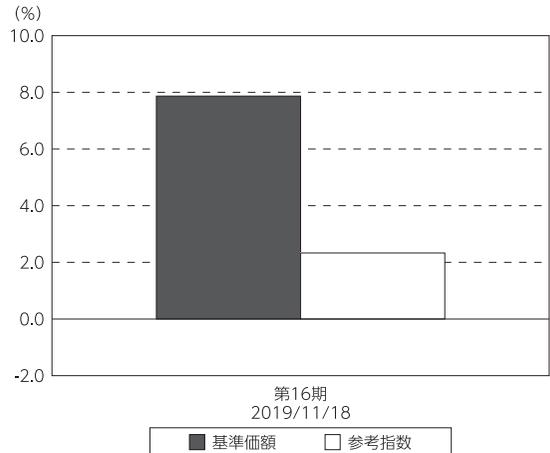
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の2.3%の上昇に対し、基準価額は7.9%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米大手製薬企業に買収された米国のバイオ企業やベルギー籍の臨床用バイオテクノロジー会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことや、オランダ籍の医薬品メーカーを非保有としていたことなどが挙げられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,400円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第16期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
当期分配金	1,400
(対基準価額比率)	5.480%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,400
翌期繰越分配対象額	14,146

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の米国株式市場は、カナダ当局による中国通信機器大手企業の幹部逮捕などを受けた米中貿易摩擦懸念の再燃や、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めペースを巡る不透明感などを背景に、下落する場面も見られました。しかし、その後は米中貿易摩擦問題の動向に一喜一憂しつつも、2019年9月に入りFRBが金融政策を緩和へ変更したことや、好調な米企業業績などを背景に市場は上昇基調で推移し、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、世界的な株安を受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりや米長期金利の低下を受け、ドル円レートは期初の113円台から107円台まで円高（ドル安）が進みました。しかし、その後は市場予想を上回る米経済指標の発表や米中貿易協議の進展への期待などから、2019年4月下旬には112円台まで戻しました。その後、米国による対中関税引き上げ表明やFRBによる金融緩和策への転換などから、8月には再度104円台まで円高が進む場面も見られましたが、米中貿易協議の部分合意や更なる交渉進展期待を背景に、期末時点では108円台後半まで円安（ドル高）が進みました。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

現在、医薬品に関連する医療費の議論で重要な転換が起っています。近年、幾つかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に応じた医療）が利用されており、処方薬で最大のマーケットである米国においても、同様の制度を求める声は益々大きくなっています。こうしたなか、医薬品企業と同様に、政府、規制当局、保険業者は医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理できるよう妥協案を探っております。また、最も重要な利害関係者である患者側も、高額な医療費支払いに伴う破産リスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えている状況です。このように、現在の医薬・バイオ業界を取り巻く環境は、科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった点においても、イノベーションを起こす最高の機会に恵まれていると考えております。株式市場の先行きには依然として不透明感がありますが、長期志向のもとで、市場の非効率性に注目するアクティブ運用者にとっては、数多くの投資機会が存在するものと考えます。

・運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 433	% 2.084	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(228)	(1.097)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(182)	(0.878)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(23)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.063	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(13)	(0.063)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.019	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	450	2.167	
期中の平均基準価額は、20,774円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

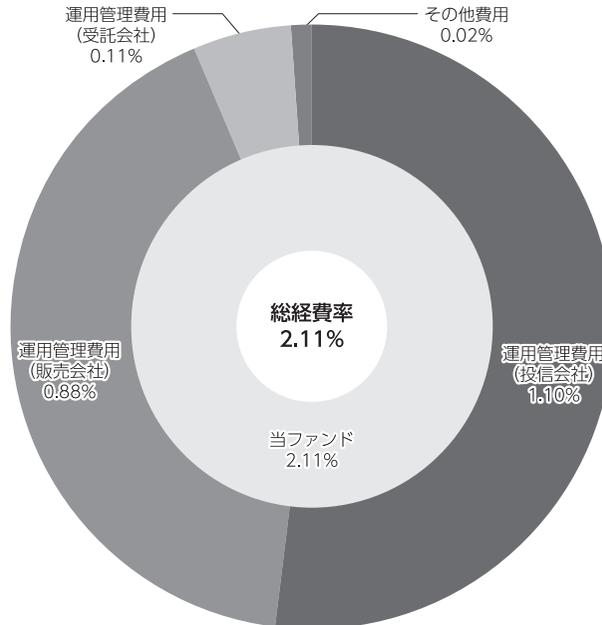
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2018年11月20日～2019年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 13,844,074	千円 66,456,225	千口 17,302,081	千円 83,657,093

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年11月20日～2019年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	128,189,375千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	105,599,693千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月20日～2019年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替先物取引	百万円 351,041	百万円 4,254	1.2	百万円 339,081	百万円 -	-

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 10,685	百万円 —	% —	百万円 46,898	百万円 3,841	% 8.2

平均保有割合 49.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 12,364,775	千口 8,906,768	千円 45,501,118

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 45,501,118	% 92.5
コール・ローン等、その他	3,685,446	7.5
投資信託財産総額	49,186,564	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（94,341,245千円）の投資信託財産総額（96,064,649千円）に対する比率は98.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.82円、1デンマーククローネ=16.10円、1ユーロ=120.31円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	93,015,556,059
コール・ローン等	1,245,818,849
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	45,501,118,739
未収入金	46,268,618,471
(B) 負債	47,519,302,316
未払金	44,438,691,088
未払収益分配金	2,169,137,014
未払解約金	395,851,227
未払信託報酬	514,808,230
未払利息	1,958
その他未払費用	812,799
(C) 純資産総額(A-B)	45,496,253,743
元本	21,691,370,148
次期繰越損益金	23,804,883,595
(D) 受益権総口数	21,691,370,148口
1万円当たり基準価額(C/D)	20,974円

(注) 期首元本額は28,582,646,573円、期中追加設定元本額は2,220,822,244円、期中一部解約元本額は9,112,098,669円、1口当たり純資産額は2,0974円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用・支払金額844,850,761円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 529,797
支払利息	△ 529,797
(B) 有価証券売買損益	4,975,332,876
売買益	10,260,552,702
売買損	△ 5,285,219,826
(C) 信託報酬等	△ 1,123,077,401
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	3,851,725,678
(E) 前期繰越損益金	△ 3,243,401,940
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	25,365,696,871 (26,204,636,527)
(売買損益相当額)	(△ 838,939,656)
(G) 計(D+E+F)	25,974,020,609
(H) 収益分配金	△ 2,169,137,014
次期繰越損益金(G+H)	23,804,883,595
追加信託差損益金 (配当等相当額)	23,196,559,857 (24,036,587,435)
(売買損益相当額)	(△ 840,027,578)
分配準備積立金	608,323,738

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年11月20日～2019年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	109,285,208円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	403,526,598円
c. 信託約款に定める収益調整金	26,205,724,449円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	95,511,932円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	26,814,048,187円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	12,361円
g. 分配金	2,169,137,014円
h. 分配金(1万円当たり)	1,000円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 501	% 2.084	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(264)	(1.097)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(211)	(0.878)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(26)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	15	0.063	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(15)	(0.063)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.019	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	521	2.167	
期中の平均基準価額は、24,061円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

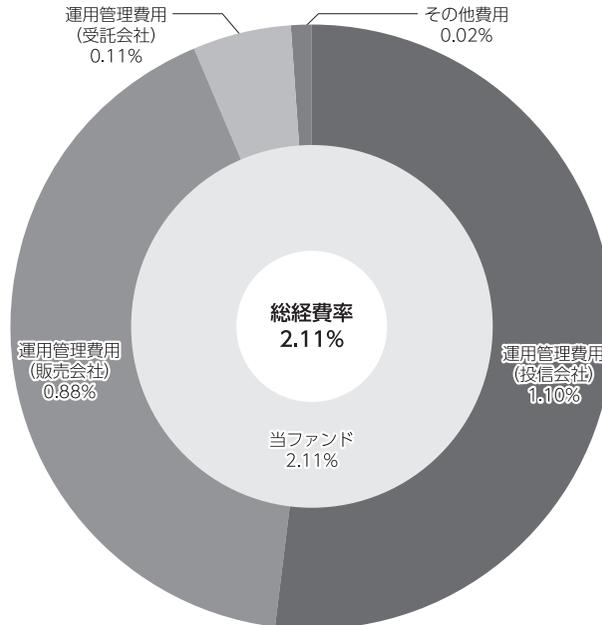
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2018年11月20日～2019年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	13,051,312 千口	63,172,950 千円	16,946,431 千口	82,260,652 千円

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年11月20日～2019年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	128,189,375千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	105,599,693千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月20日～2019年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 10,685	百万円 —	—	百万円 46,898	百万円 3,841	8.2

平均保有割合 50.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	12,748,027	8,852,907	45,225,963

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	45,225,963	92.8
コール・ローン等、その他	3,520,802	7.2
投資信託財産総額	48,746,765	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（94,341,245千円）の投資信託財産総額（96,064,649千円）に対する比率は98.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.82円、1デンマーククローネ=16.10円、1ユーロ=120.31円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	48,746,765,534
コール・ローン等	625,801,544
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	45,225,963,990
未収入金	2,895,000,000
(B) 負債	3,520,721,354
未払収益分配金	2,622,170,698
未払解約金	386,872,902
未払信託報酬	510,870,198
未払利息	983
その他未払費用	806,573
(C) 純資産総額(A-B)	45,226,044,180
元本	18,729,790,702
次期繰越損益金	26,496,253,478
(D) 受益権総口数	18,729,790,702口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,147円

(注) 期首元本額は24,974,707,346円、期中追加設定元本額は2,119,926,579円、期中一部解約元本額は8,364,843,223円、1口当たり純資産額は2,4147円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額844,850,761円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 373,680
支払利息	△ 373,680
(B) 有価証券売買損益	4,554,283,991
売買益	5,753,571,227
売買損	△ 1,199,287,236
(C) 信託報酬等	△ 1,124,650,589
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	3,429,259,722
(E) 前期繰越損益金	△ 2,254,097,367
(F) 追加信託差損益金	27,943,261,821
(配当等相当額)	(20,390,752,830)
(売買損益相当額)	(7,552,508,991)
(G) 計(D+E+F)	29,118,424,176
(H) 収益分配金	△ 2,622,170,698
次期繰越損益金(G+H)	26,496,253,478
追加信託差損益金	25,321,091,123
(配当等相当額)	(17,769,977,822)
(売買損益相当額)	(7,551,113,301)
分配準備積立金	1,175,162,355

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年11月20日～2019年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	106,365,179円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	990,014,137円
c. 信託約款に定める収益調整金	27,943,261,821円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	78,783,039円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	29,118,424,176円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	15,546円
g. 分配金	2,622,170,698円
h. 分配金(1万口当たり)	1,400円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,400円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日2019年11月18日）

作成対象期間（2018年11月20日～2019年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2015年11月18日)	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—	14,665
13期(2016年11月18日)	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—	22,356
14期(2017年11月20日)	46,409	14.1	511.23	10.0	96.2	—	113,562
15期(2018年11月19日)	46,400	△0.0	520.94	1.9	96.3	—	116,523
16期(2019年11月18日)	51,086	10.1	533.08	2.3	96.2	—	90,726

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

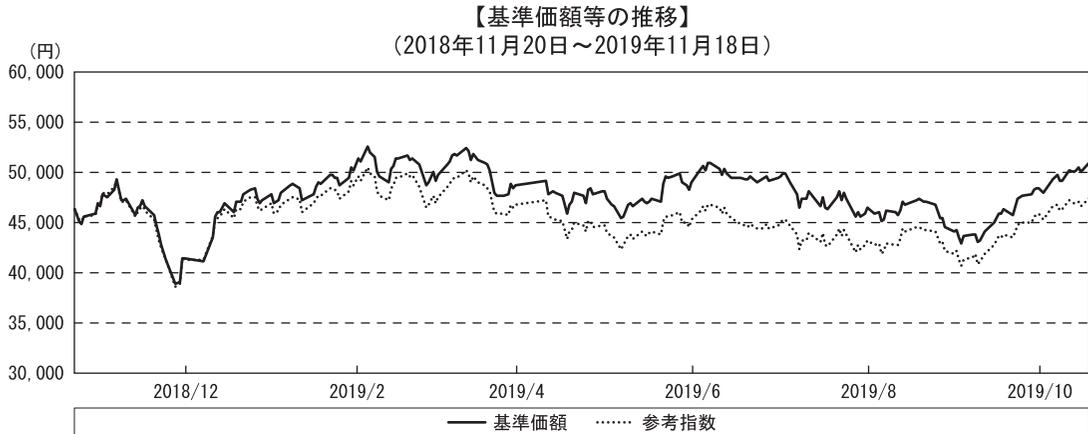
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年11月19日	46,400	—	520.94	—	96.3	—
11月末	47,551	2.5	536.30	2.9	97.2	—
12月末	41,405	△10.8	463.87	△11.0	96.4	—
2019年1月末	47,251	1.8	518.54	△0.5	97.1	—
2月末	51,389	10.8	556.70	6.9	96.6	—
3月末	49,713	7.1	533.84	2.5	95.8	—
4月末	48,761	5.1	524.99	0.8	96.2	—
5月末	46,614	0.5	488.86	△6.2	97.1	—
6月末	49,081	5.8	508.41	△2.4	96.9	—
7月末	49,982	7.7	508.09	△2.5	96.5	—
8月末	46,468	0.1	484.95	△6.9	96.5	—
9月末	44,060	△5.0	470.51	△9.7	98.4	—
10月末	48,486	4.5	514.72	△1.2	96.8	—
(期末)						
2019年11月18日	51,086	10.1	533.08	2.3	96.2	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首46,400円から期末51,086円となりました。

- (上昇) 米国の中間選挙の結果、下院で民主党が過半数を奪還し、オバマケア（医療保険制度改革法）の継続期待が高まったこと、米中首脳会議への期待が高まったこと
- (下落) 景気後退のシグナルとなる米長短金利の逆転が意識されたこと、米中通商問題に対する懸念が高まったこと、米テキサス州でオバマケアに対して違憲判決が出たこと、為替市場で円高（ドル安）が進んだこと
- (上昇) 米国の大手医薬品企業によるバイオテクノロジー企業の買収発表が相次いだこと、米中通商協議の進展期待が高まったこと、業界全体にM&A（企業の合併・買収）期待が高まったこと
- (下落) FDA（米食品医薬品局）長官が辞任すると報道されたこと、世界的な景気減速懸念が強まったこと、バイオジェンが開発中のアルツハイマー治療薬の治験中止を発表したこと、米大統領選挙活動において、国民皆保険実現を目指す民主党候補の人气が上昇してきたこと、為替市場で円高（ドル安）が進んだこと

(上昇) これまで懸念されてきた薬価や医療制度改革を巡る政治論争などについて出尽くし感が出始めたこと、バイオジェンが早期アルツハイマー治療薬のFDA承認申請計画を再度明らかにしたこと、米民主党のエリザベス・ウォーレン大統領候補が、従来主張してきた医療保険を公的保険へと一本化する案を手直しし、他の民主党候補が提案する穏やかな改革案に近いものへと変更した模様と伝わったこと、為替市場でドルが反発したこと

○投資環境

期中の米国株式市場は、カナダ当局による中国通信機器大手企業の幹部逮捕などを受けた米中貿易摩擦懸念の再燃や、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めペースを巡る不透明感などを背景に、下落する場面も見られました。しかし、その後は米中貿易摩擦問題の動向に一喜一憂しつつも、2019年9月に入りFRBが金融政策を緩和へ変更したことや、好調な米企業業績などを背景に市場は上昇基調で推移し、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、世界的な株安を受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりや米長期金利の低下などを受け、ドル円レートは期初の113円台から107円台まで円高（ドル安）が進みました。しかし、その後は市場予想を上回る米経済指標の発表や米中貿易協議の進展への期待などから、4月下旬には112円台まで戻しました。その後、米国による対中関税引き上げ表明やFRBによる金融緩和策への転換などから、8月には再度104円台まで円高が進む場面も見られましたが、米中貿易協議の部分合意や更なる交渉進展期待を背景に、期末時点では108円台後半まで円安（ドル高）が進みました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

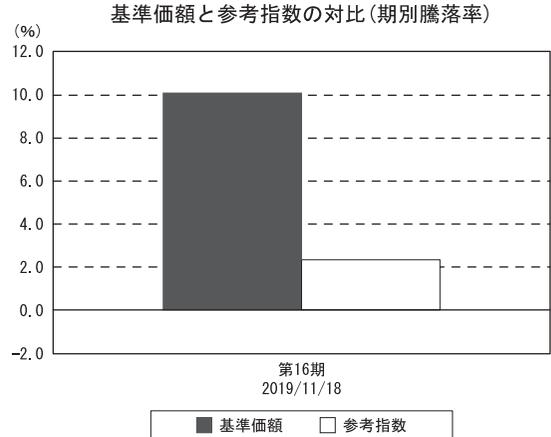
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の2.3%の上昇に対し、基準価額は10.1%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米大手製薬企業に買収された米国のバイオ企業やベルギー籍の臨床用バイオテクノロジー会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことや、オランダ籍の医薬品メーカーを非保有としていたことが挙げられます。



（注）参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

○今後の運用方針

○投資環境

現在、医薬品に関連する医療費の議論で重要な転換が起こっています。近年、幾つかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に応じた医療）が利用されており、処方薬で最大のマーケットである米国においても、同様の制度を求める声は益々大きくなっています。こうしたなか、医薬品企業と同様に、政府、規制当局、保険業者は医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理できるよう妥協案を探っております。また、最も重要な利害関係者である患者側も、高額な医療費支払いに伴う破産リスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えている状況です。このように、現在の医薬・バイオ業界を取り巻く環境は、科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった点においても、イノベーションを起こす最高の機会に恵まれていると考えております。株式市場の先行きには依然として不透明感がありますが、長期志向のもとで、市場の非効率性に注目するアクティブ運用者にとっては、数多くの投資機会が存在するものと考えます。

○運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ（基礎的条件）分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 30 (30)	% 0.063 (0.063)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.016 (0.016) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	38	0.080	
期中の平均基準価額は、47,563円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年11月20日～2019年11月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 90,177	千米ドル 399,251	百株 133,737	千米ドル 704,896
	デンマーク	435	千デンマーククローネ 50,667	293	千デンマーククローネ 41,550
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,783	16,473	1,045	10,690
	フランス	81	144	1,413	2,367
	ベルギー	84	757	1,536	20,819

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年11月20日～2019年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	128,189,375千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	105,599,693千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月20日～2019年11月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 10,685	百万円 -	% -	百万円 46,898	百万円 3,841	% 8.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
(アメリカ)					
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	—	2,467	11,375	1,237,921	バイオテクノロジー
ACCELERON PHARMA INC	1,269	—	—	—	バイオテクノロジー
AERIE PHARMACEUTICALS INC	2,297	—	—	—	医薬品
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	1,497	—	—	—	バイオテクノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	4,982	1,750	18,965	2,063,862	バイオテクノロジー
ALLAKOS INC	—	941	6,849	745,314	バイオテクノロジー
ALLOGENE THERAPEUTICS INC	1,396	—	—	—	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	2,987	2,252	20,729	2,255,801	バイオテクノロジー
AMARIN CORPORATION PLC-ADR	—	3,765	9,044	984,177	バイオテクノロジー
AMGEN INC	2,324	2,701	59,674	6,493,814	バイオテクノロジー
AMICUS THERAPEUTICS INC	12,458	16,858	16,141	1,756,523	バイオテクノロジー
ARENA PHARMACEUTICALS INC	2,587	3,426	15,697	1,708,245	バイオテクノロジー
ARGENX SE-ADR	1,616	619	8,638	940,034	バイオテクノロジー
ARRAY BIOPHARMA INC	13,384	—	—	—	バイオテクノロジー
ARVINAS INC	—	983	2,999	326,364	医薬品
AUDENTES THERAPEUTICS INC	1,347	—	—	—	バイオテクノロジー
AVROBIO INC	750	—	—	—	バイオテクノロジー
BEIGENE, LTD ADR	1,054	321	6,379	694,215	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	4,419	2,251	16,895	1,838,615	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	1,740	1,232	34,796	3,786,560	バイオテクノロジー
BLUEBIRD BIO INC	626	—	—	—	バイオテクノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	2,903	1,296	9,767	1,062,887	バイオテクノロジー
CELGENE CORP	6,536	2,022	22,254	2,421,724	バイオテクノロジー
CYTOMX THERAPEUTICS INC	2,758	—	—	—	バイオテクノロジー
DECIPHERA PHARMACEUTICALS INC	—	2,085	10,198	1,109,808	バイオテクノロジー
DENALI THERAPEUTICS INC	—	2,818	4,266	464,303	バイオテクノロジー
EDITAS MEDICINE INC	662	—	—	—	バイオテクノロジー
ESPERION THERAPEUTICS INC	1,738	—	—	—	バイオテクノロジー
EXELIXIS INC	12,847	11,191	18,477	2,010,753	バイオテクノロジー
FATE THERAPEUTICS INC	—	4,694	6,900	750,895	バイオテクノロジー
FLEXION THERAPEUTICS INC	4,487	—	—	—	バイオテクノロジー
GW PHARMACEUTICALS -ADR	1,863	703	7,628	830,120	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	6,689	8,400	54,659	5,948,098	バイオテクノロジー
GLOBAL BLOOD THERAPEUTICS INC	2,103	2,590	13,254	1,442,358	バイオテクノロジー
HALOZYME THERAPEUTICS INC	12,588	8,046	15,215	1,655,787	バイオテクノロジー
ILLUMINA INC	1,607	741	22,702	2,470,458	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNOMEDICS INC	4,566	4,732	8,300	903,276	バイオテクノロジー
INCYTE CORP	6,621	3,831	33,222	3,615,223	バイオテクノロジー
KALVISTA PHARMACEUTICALS INC	—	2,427	2,687	292,442	バイオテクノロジー
KRYSTAL BIOTECH INC	—	1,111	5,732	623,787	バイオテクノロジー
LA JOLLA PHARMACEUTICAL CO	3,229	—	—	—	バイオテクノロジー
LOXO ONCOLOGY INC	930	—	—	—	バイオテクノロジー
MEDICINES COMPANY	—	1,160	6,031	656,398	バイオテクノロジー
MIRATI THERAPEUTICS INC	1,041	482	4,632	504,126	バイオテクノロジー
MYOKARDIA INC	1,574	1,460	8,026	873,394	医薬品
NANOSTRING TECHNOLOGIES INC	—	3,371	8,260	898,885	ライフサイエンス・ツール/サービス

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	2,919	2,570	29,055	3,161,775	バイオテクノロジー	
NOVAVAX INC	11,731	—	—	—	バイオテクノロジー	
ODONATE THERAPEUTICS INC	—	815	2,700	293,850	医薬品	
PRA HEALTH SCIENCES INC	1,778	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
PTC THERAPEUTICS INC	1,012	3,214	14,042	1,528,094	バイオテクノロジー	
PRINCIPIA BIOPHARMA INC	—	1,543	4,638	504,809	バイオテクノロジー	
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,294	1,364	47,040	5,118,959	バイオテクノロジー	
SAGE THERAPEUTICS INC	1,481	634	9,278	1,009,712	バイオテクノロジー	
SANGAMO THERAPEUTICS INC	1,919	2,859	2,690	292,800	バイオテクノロジー	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	1,178	2,160	21,055	2,291,296	バイオテクノロジー	
SEATTLE GENETICS INC	1,379	2,617	30,033	3,268,259	バイオテクノロジー	
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	1,064	—	—	—	医薬品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	948	287	8,834	961,413	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TURNING POINT THERAPEUTICS I	—	1,620	8,245	897,304	バイオテクノロジー	
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	3,362	—	—	—	バイオテクノロジー	
VERACYTE INC	—	4,405	11,119	1,210,074	バイオテクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	2,963	2,999	62,935	6,848,605	バイオテクノロジー	
ZOGENIX INC	1,800	1,892	8,546	930,063	医薬品	
ZYMEWORKS INC	—	2,390	8,639	940,140	バイオテクノロジー	
BIOHAVEN PHARMACEUTICAL HOLDING CO LTD	1,974	2,361	12,061	1,312,529	バイオテクノロジー	
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	1,459	—	—	—	医薬品	
AC IMMUNE SA	6,174	—	—	—	バイオテクノロジー	
CRISPR THERAPEUTICS AG	517	—	—	—	バイオテクノロジー	
OBSEVA SA	4,510	923	228	24,912	バイオテクノロジー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	180,964 54	137,404 49	771,556 —	83,960,782 <92.5%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
GENMAB A/S	869	1,010	152,281	2,451,732	バイオテクノロジー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	869 1	1,010 1	152,281 —	2,451,732 <2.7%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
MORPHOSYS AG	—	737	7,009	843,328	バイオテクノロジー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	737 1	7,009 —	843,328 <0.9%>	
(ユーロ…フランス)						
CELLECTIS SA	1,332	—	—	—	バイオテクノロジー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,332 1	— —	— —	— <—%>	
(ユーロ…ベルギー)						
GALAPAGOS NV	1,451	—	—	—	バイオテクノロジー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,451 1	— —	— —	— <—%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,783 2	737 1	7,009 —	843,328 <0.9%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	184,617 57	139,152 51	— —	87,255,844 <96.2%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	87,255,844	90.8
コール・ローン等、その他	8,808,805	9.2
投資信託財産総額	96,064,649	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (94,341,245千円) の投資信託財産総額 (96,064,649千円) に対する比率は98.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.82円、1デンマーククローネ=16.10円、1ユーロ=120.31円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	101,419,585,339
コール・ローン等	7,092,753,900
株式(評価額)	87,255,844,180
未収入金	7,032,617,125
未収配当金	38,370,134
(B) 負債	10,693,041,308
未払金	5,365,038,600
未払解約金	5,328,000,000
未払利息	2,708
(C) 純資産総額(A-B)	90,726,544,031
元本	17,759,676,375
次期繰越損益金	72,966,867,656
(D) 受益権総口数	17,759,676,375口
1万口当たり基準価額(C/D)	51,086円

(注) 期首元本額は25,112,802,809円、期中追加設定元本額は26,895,386,987円、期中一部解約元本額は34,248,513,421円、1口当たり純資産額は5,1086円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 8,906,768,731円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 8,852,907,644円

○損益の状況 (2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	350,206,064
受取配当金	326,450,145
受取利息	21,434,914
その他収益金	3,781,780
支払利息	△ 1,460,775
(B) 有価証券売買損益	10,158,772,390
売買益	23,868,177,408
売買損	△ 13,709,405,018
(C) 保管費用等	△ 17,173,578
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,491,804,876
(E) 前期繰越損益金	91,410,506,346
(F) 追加信託差損益金	102,733,788,013
(G) 解約差損益金	△131,669,231,579
(H) 計(D+E+F+G)	72,966,867,656
次期繰越損益金(H)	72,966,867,656

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。